

埼玉労福協 2021 年度事業報告

【2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日】

新型コロナウイルスは、各国で多くの人命と健康を奪い、経済に深刻な打撃を与え、私たちの生活を激変させました。日本においても、第 4 波、第 5 波、第 6 波と新規陽性者が増加し、2 万 9 千人を超える死亡者数となっています。埼玉県においても感染拡大防止の観点から緊急事態宣言やまん延防止等重点措置を発出しましたが、感染者数は未だ高止まりの状況が続いています。

埼玉労福協もその影響を受け、2021 年度事業におけるイベントや会議等の一部を延期・中止せざるを得ない状況となりました。このような中で、埼玉労福協の事業にご理解・ご協力をいただきました皆様に感謝を申し上げます。

以下、2021 年度事業計画に沿って報告します。

I. 諸会議の開催について

埼玉労福協は定款に沿った組織運営をするために、定時（第 15 回）社員総会、理事会、専門委員会を開催し、理事会への報告・提案を行っています。

2021 年度は、理事会を 6 回（第 75 回～第 80 回）開催しました。

1. 社員総会の開催

会議名	開催日・会場	議 題 等
第 15 回 定時社員総会	2021 年 5 月 27 日（木） ＜会場＞ 埼玉県勤労者 福祉センター ＜出席者＞ ◇議決権行使者 9 名中 9 名 ◇理事 19 名中 14 名 ◇監事 3 名中 2 名	【決議事項】 1. 2020 年度「事業報告」について 2. 2020 年度「貸貸対照表」の承認について 3. 2020 年度「収支決算報告」及び「正味財産増減 計算書」「会計監査報告」について 4. 2021 年度「役員報酬」の上限について 5. 理事・監事の選任について 【報告承認事項】 1. 2021 年度「事業計画」について 2. 2021 年度「収支予算」について 【特別報告】 東日本大震災に関する支援対応について

2. 理事会の開催

会議名	開催日・会場	議 題 等
第 1 回 理事会 (通算 75 回)	2021 年 5 月 13 日 (木)	1. 第 15 回定時社員総会の開催について 2. 2020 年度事業報告 (案) の承認について 3. 2020 年度貸借対照表および関連資料の承認について 4. 2021 年度役員報酬の上限について 5. 中央労福協 2021 年度全国研究集会 (福島) の開催について
第 2 回 理事会 (通算 76 回)	7 月 15 日 (木)	1. 第 15 回定時社員総会議事録の確認について 2. 理事の辞任について 3. 理事の所属団体変更について 4. 副理事長の選任について 5. 2020 年度政策・制度要請埼玉県回答ならびに評価について 6. 2021 年度埼玉県に対する政策・制度要請 (素案) について 7. 2021 年度浜通りスタディツアーの開催について 8. 奨学金返済や教育費の負担を軽減するための税制支援を求めるオンライン署名活動の取り組みについて
第 3 回 理事会 (通算 77 回)	8 月 25 日 (水)	1. 2021 年度埼玉県に対する政策・制度要請 (案) について 2. 2021 全国福祉強化キャンペーンの実施について 3. 2021 年度奨学金に関する全国一斉相談の実施について 4. 2021 年度役職員研修会の開催について 5. 教育フォーラム 2021 の開催について 6. 2021 年度浜通りスタディツアーの中止について
第 4 回 理事会 (通算 78 回)	11 月 5 日 (金)	1. 監事の辞任について 2. 2021 年度役職員研修会の中止について 3. 労働者福祉東部ブロック協議会「第 56 回定期総会」代議員の選出について 4. 緑のトラスト運動協賛カンパ活動への取り組みについて
第 5 回 理事会 (通算 79 回)	2022 年 1 月 20 日 (木)	1. 第 16 回定時社員総会の「日時・会場」について 2. 2022 年度理事会等の日程案について 3. 「3.11 を忘れない埼玉集会 2022」の開催について 4. 福島県復興支援員事業、富岡町県外避難者支援事業の受託について

		5. NPO 法人フードバンク埼玉「理事」就任について 6. 日本難病・疫病団体協議会（JPA）国会請願署名活動への協力について
第 6 回 理事会 (通算 80 回)	3 月 25 日（金）	1. 2022 年度事業計画（案）について 2. 2022 年度収支予算（案）について 3. 2022～2023 年度役員体制について 4. 2022 年度「会費及び納入方法」について 5. 2022 年度地域労福協活動助成金について 6. 福島県復興支援員事業、富岡町県外避難者支援事業の受託について 7. 職員の雇用契約更新について 8. 2021 年度「緑のトラスト基金」への寄付について

3. 三役会議の開催

会議名	開催日・会場	議 題 等
第 1 回 三役会議	2021 年 5 月 10 日（月）	1. 第 1 回理事会議案について
第 2 回 三役会議	7 月 12 日（月）	1. 第 2 回理事会議案について
第 3 回 三役会議	8 月 19 日（木）	1. 第 3 回理事会議案について
第 4 回 三役会議	10 月 29 日（金）	1. 第 4 回理事会議案について 2. 埼玉労福協ホームページの活用について
第 5 回 三役会議	2022 年 1 月 13 日（木）	1. 第 5 回理事会議案について
第 6 回 三役会議	3 月 17 日（木）	1. 第 6 回理事会議案について

4. 専門委員会の開催

(1) 企画委員会

2018 年 3 月に企画委員会からの答申を受け、理事会で確認された「事業・財政・組織の在り方」を踏まえ、引き続き議論が必要な課題について対応するため、2020 年度に企画委員会を再設置し、議論を進めてきました。

2021 年度については、企画委員会の開催はありませんでした。

○構成メンバー

近藤嘉理事長、吉川尚彦理事、清水直樹理事、和田潤理事、平尾幹雄監事
佐藤道明専務理事、新坂洋一事務局長

(2) 事業団体実務推進連携会議

事業団体実務推進連携会議は事業団体間の情報交換と「協同事業」のために開催するもので、2021年度は5回の開催計画がコロナウイルス感染拡大防止の対応から4回の開催となりました。

①構成メンバー

宮本範章→山岸 修（第5回より）（中央労働金庫埼玉県本部）
 塩崎輝幸→中山 豊（第2回より）（こくみん共済coop埼玉推進本部）
 大川晋史（パルシステム埼玉）
 松本幸一（埼玉県勤労者福祉センター）
 小川勇氣（ワーカーズコープセンター事業団埼玉事業本部）
 林 岳人（医療生協さいたま）
 小穴真一郎→酒井 勉（日本労働組合総連合会埼玉県連合会）
 佐藤道明（埼玉労福協）
 新坂洋一（埼玉労福協）
 佐藤 宏（埼玉労福協）

②会議の開催状況

会 議 の 名 称	開 催 日
第1回事業団体実務推進連携会議	2021年 5月 12日（水）
第2回事業団体実務推進連携会議	2021年 7月 26日（月）
第3回事業団体実務推進連携会議	2021年 10月 28日（木）
第4回事業団体実務推進連携会議	2022年 2月 2日（水） 中止
第5回事業団体実務推進連携会議	2022年 3月 22日（火）

5. 埼玉県の審議会・委員会、関係団体等への役員等の派遣

委員会等の名称	役 職	氏 名
（財）埼玉県健康づくり事業団	理 事	近藤 嘉
（財）埼玉県国際交流協会	評議員	近藤 嘉
社会保険診療報酬支払基金埼玉支部	運営委員	佐藤 道明
人間尊重社会をめざす県民運動推進協議会	委 員	沼尻 俊彦 佐藤 道明
埼玉県勤労者生活協同組合	理 事	佐藤 道明
一般財団法人埼玉県勤労者福祉センター	理 事 評議員	佐藤 道明 佐藤 宏
埼玉県住まい安心支援ネットワーク	委 員	新坂 洋一
埼玉県多重債務対策協議会	委 員	新坂 洋一

Ⅱ. 2021年度の具体的な事業展開

1. 共生の地域社会づくりを推進する事業

- (1) 埼玉県内勤労者をはじめ県民全体を対象とした「無料法律相談会」を、2021年4月10日から2022年3月17日までの間、ネット21事務所（川越・熊谷・大宮）において開催しました。県内3会場で34回開催し72件の相談がありました。
- (2) ホームページを使った勤労者のための「くらしの相談ネット」で紹介している相談先の掲載内容について、点検・修正を行いました。
- (3) 共生の地域社会づくりを進めるため、「高齢者支援」「子育て支援」「外国人労働者の支援」「障がい者支援」のため、県内のNPO法人や諸団体との連携を図りました。
- (4) 埼玉県多重債務対策協議会による「多重債務者相談強化キャンペーン2021」の取り組みとして、11月23日に埼玉県教育会館において相談会を開催しました（相談1件）。また、年7回の協議会（書面開催含む）に出席しました。

《会議への出席状況》

会 議 名	開 催 日	会 場
第128回対策協議会	2021年 5月18日（火）	書面決議
第129回対策協議会	2021年 7月20日（火）	書面決議
第130回対策協議会	2021年 9月21日（火）	書面決議
第131回対策協議会	2021年 10月19日（火）	書面決議
第132回対策協議会	2021年 11月16日（火）	対面（弁護士会館）、 書面決議
第133回対策協議会	2022年 1月18日（火）	書面決議
第134回対策協議会	2022年 3月15日（火）	書面決議

2. 中小企業で働く勤労者の福祉向上を図る事業

- (1) 埼玉県中小企業勤労者福祉サービスセンター協議会事業への参加を通じ、県内中小企業で働く労働者のための福祉施策の向上に努めました。

県内では、川口・戸田・蕨、県央、西部第四、深谷地域労福協から「勤労者福祉サービスセンター」の理事や評議員を派遣して、連携した取り組みを継続しています。

《総会・会議への出席状況》

会 議 名	開 催 日	会 場
令和3年度総会	2021年 5月20日（木）	書面による決議
第1回事務局長会議	2021年 7月28日（水）	書面による会議
第2回事務局長会議	2022年 3月 4日（金）	書面による会議
第1回担当者会議	2021年 6月24日（木）	所沢市役所
第2回担当者会議	2021年 11月19日（金）	オンライン
第3回担当者会議	2022年 2月 4日（金）	オンライン

- (2) 埼玉県中小企業勤労者福祉サービスセンター協議会が共同購入する「東武動物公園法人アトラクションパスセット」や「こども商品券」、「ミスタードーナツ商品券」の購入に協力しました。
- (3) 埼玉労福協「第1回中小企業勤労者福祉サービスセンター推進会議」を、2022年2月9日にオンライン会議にて開催し、サービスセンター協議会ならびに各サービスセンターの活動について共通認識を図りました。

3. 社会保障及び労働者福祉についての調査、研究及び啓発事業

- (1) ケアラーの現状と「埼玉県ケアラー支援計画」による支援策を学び、ケアラーが健康で文化的な生活を営むことができる社会を実現することを目的に、「福祉フォーラム2021」を開催しました。

◆福祉フォーラム2021『自分が倒れたら、誰が介護を代わってくれるのか』

開催日 2021年7月15日(木) 13時30分～16時15分

会場 埼玉県勤労者福祉センター 5階大ホール

講師 堀越栄子 氏

一般社団法人日本ケアラー連盟 代表理事/日本女子大学名誉教授

参加者 計65名

内訳：理事・監事/事務局16名、連合埼玉23名、事業団体16名

地域労福協9名、一般1名



講師：堀越栄子 氏



福祉フォーラム2021

「自分が倒れたら、誰が介護を代わってくれるのか」

- (2) 豊かで充実した生きがいのある生涯生活をおくるための学びとして、「ライフプランセミナー」を連合埼玉の構成組織・加盟組合の女性ならびに青年層を対象に開催する計画でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により開催できませんでした。一方、ライフプランに関する資料を作成し、ホームページに掲載するなど周知活動に努めました。
- (3) 中央労福協ならびに労福協東部ブロック協議会が主催する集会・研修会に参加しました。

◆中央労福協全国研究集会

日時：2021年6月7日(月)

テーマ：「時代に調和する新しい“つながり”のカタチ 2021＜実践編＞

～ポストコロナ社会に向けて～」(YouTube)

◆中央労福協オンライン学習会

○第 8 回

日 時：2021 年 5 月 24 日（月）

テーマ：「01（ゼロイチ）～東日本大震災を経て～

『行動』『仲間を増やす』『挑戦』

講 師：伊藤雅人 氏 一般社団法人マルゴト陸前高田代表理事

○第 10 回

日 時：2021 年 7 月 6 日（火）

テーマ：「誰一人取り残さない防災に向けて、私たちができること」

講 師：立木茂雄 氏 同志社大学社会学部教授

○第 12 回

日 時：2021 年 9 月 17 日（金）

テーマ：「地域共生社会の実現に向けて～重層的支援体制整備事業の推進～」

講 師：唐木啓介 氏 厚生労働省地域共生社会推進室長

○第 13 回

日 時：2021 年 10 月 1 日（金）

テーマ：「子ども虐待防止のために～市民の見守りで子どもを守ろう～」

講 師：吉田恒雄 氏

認定特定非営利活動法人児童虐待防止全国ネットワーク理事長

○第 14 回

日 時：2021 年 10 月 22 日（金）

テーマ：「コロナ禍で深刻化する貧困・格差

～誰もが健康で安心してらせる社会へ～」

講 師：稲葉剛 氏 一般社団法人つくろい東京ファンド代表理事

○第 16 回

日 時：2021 年 12 月 15 日（水）

テーマ：「ケアラー・ヤングケアラーの現状と必要な支援

～ケアラーが孤立しないまちに～」

講 師：堀越英子 氏 一般社団法人日本ケアラー連盟代表理事

○第 17 回

日 時：2022 年 1 月 21 日（金）

テーマ：「中央労福協会長としての 6 年間を振り返って

～今後の労福協運動への期待～」

講 師：神津里季生 氏 中央労福協顧問

○第 18 回

日 時：2022 年 2 月 4 日（金）

テーマ：「カーボンニュートラルに向けた取組について」

講 師：松田尚之 氏 環境省大臣官房環境計画課長

◆労福協東部ブロック協議会研修会

日 時：2021 年 12 月 1 日（水）

テーマ：「労働者福祉と患者団体の関わり」

講 師：玉木朝子 氏 全国膠原病友の会栃木県支部長

この研修を受け労福協東部ブロック協議会として、日本難病・疾病団体協議会の署名活動に協力しました。埼玉労福協は社員団体ならびに地域労福協の協力を得て、6836 筆の署名を集めました。

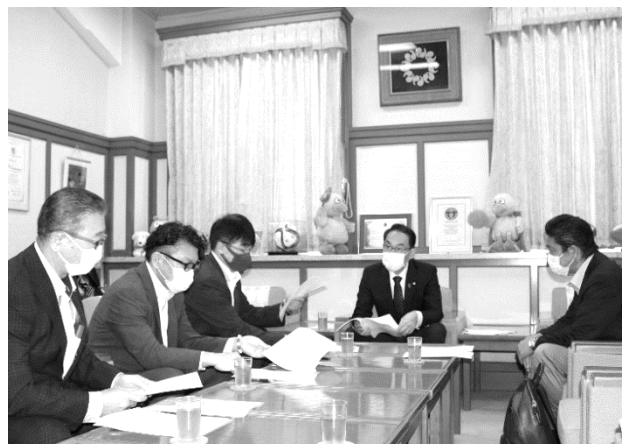
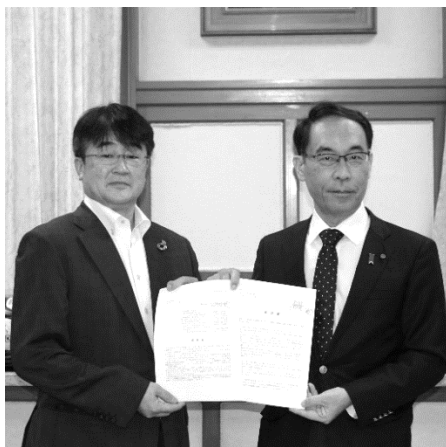
- (4) 中央労福協が作成したポスター「2021 年度現行社会保険制度の要点」を 900 部購入し、労働組合や福祉事業団体ならびに地域労福協、ライフサポートステーションネット 21 事務所(4 か所)等に配布しました。

4. 県民の生活福祉及び労働者福祉施策に関する政策・制度要請に関する事業

- (1) 埼玉県に対する政策制度要請ならびに市町村への政策制度要請に取り組みました。

9 月 21 日に埼玉県知事に対して、「10 分野・25 項目」の要請書を提出するとともに、10 月 25 日には県関係部局との話し合いを行いました。

- (2) 3 月 30 日に埼玉県より要請に対する回答があり、「労働者協同組合」に関する要請ならびに「奨学金返還の軽減・免除の制度化」について、令和 4 年度の新規事業として予算化されました。



埼玉県政策制度要請(2021 年 9 月 21 日)

- (3) 埼玉県ならびに市町村に対する政策制度要請内容の検討のため、地域労福協代表者と連合埼玉（事務局長・政策制度担当副事務局長）と共に「政策制度会議」を開催し、分析と議論を行いました。

《会議の開催状況》

会 議 名	開 催 日	会 場
第 1 回政策制度会議	2021 年 5 月 18 日（火）	ときわ会館
第 2 回政策制度会議	2021 年 7 月 28 日（水）	ときわ会館

第3回政策制度会議	2021年 9月15日(水)	オンライン
第4回政策制度会議	2021年 11月10日(水)	ときわ会館
第5回政策制度会議	2022年 2月 9日(水)	オンライン

5. 労働者の教育に関する事業

- (1) 教育に対する関心と理解を一層深めるため、埼玉県教育の日を含む、教育週間に合わせて「教育フォーラム2021」を開催しました。

◆教育フォーラム2021「いま、教育現場でLGBTの子どもたちは
～子どもたちが自分らしく生きるために～」

開催日 2021年11月5日(金) 13時30分～16時45分

会場 埼玉県勤労者福祉センター 5階大ホール

講師 池田宏氏 レインボーさいたまの会 顧問

参加者 計97名(会場参加者54名・オンライン参加者43名)

内訳：理事・監事/事務局21名、連合埼玉17名、事業団体12名
連合埼玉推薦議員29名、地域労福協16名、一般2名



教育フォーラム2021「いま、教育現場でLGBTの子どもたちは」

- (2) 中央労福協が10月～11月を強化月間と定める「全国福祉強化キャンペーン」の取り組みとして、「奨学金に関する相談会」を11月11日に開催しました。開催告知として地域情報誌およびメールマガジンの配信を利用し周知に努めた結果、5件(本人3件、親2件)の相談がありました。

6. 連合埼玉との共同運営を行っている「地域事務所」の運営事業

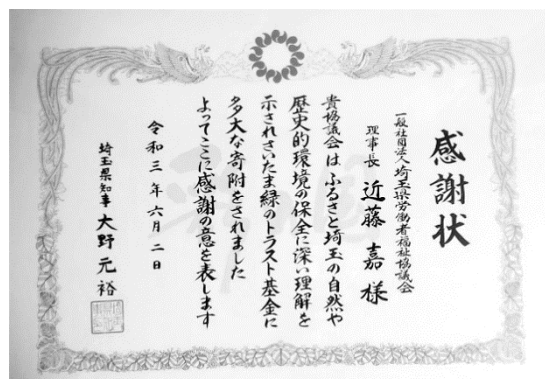
- (1) ライフサポートステーションネット21事務所(久喜・川越・熊谷・大宮)を活用して勤労者のための事業に取り組みました。また、4事務所に埼玉労福協の専従役員が定期的に訪問し、相談員と情報共有のための意見交換を行いました。
- (2) 連合埼玉が主催する「ライフサポートステーション運営会議」に参加し、地域事務所の運営に協力しました。
- (3) 10月28日に中央労福協が主催した「第10回LSC実務者・相談員研修会(オンライン開催)」に参加しました。

7. 緑のトラスト運動

埼玉県が進める緑地保全活動に賛同して「緑のトラスト基金」への募金に取り組み、503,382 円をさいたま緑のトラスト協会を通じて「緑のトラスト基金」に寄付しました。

《2021 年度の取り組み》

取組団体	募 金 額
連合埼玉	350,000 円
中央労金埼玉県本部・支店	77,521 円
こくみん共済 coop 埼玉推進本部	35,078 円
埼玉県勤労者福祉センター	10,000 円
中央ろうきんサービス埼玉支社	5,000 円
埼玉県勤労者生活協同組合	10,000 円
埼玉県生活協同組合連合会	10,000 円
埼玉労福協	5,000 円
その他有志	783 円
合 計	503,382 円



さいたま緑のトラスト基金 感謝状

8. 勤労者のための地域連携の強化

共生の地域社会づくりを進めるため、「高齢者支援」「子育て支援」「外国人労働者支援」「障がい者支援」のため、県内のNPO法人や諸団体との連携を進めました。

- (1) 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、生活困窮に追い込まれた大学生（埼玉大学生 267 人、埼玉県立大学 184 人）への食糧支援を連合埼玉ならびにフードバンク埼玉と連携して取り組みました。



食糧の袋詰め作業



学生への寄贈

- (2) 労働組合と地域のNPOの連携・協力関係の構築をめざし、「ネットワークSAITAMA 21 運動」の事業である「地域セミナー」を、さいたまNPOセンターの協力を得て開催しました。
- (3) 共生の地域社会づくり事業として、NPO法人（ハンズオン埼玉）と生協（パルシステム埼玉）、埼玉労福協によるコラボ企画「おとうさんの焼き芋タイム（12 団体への提供）」を実施しました。

- (4) 埼玉県災害ボランティア団体ネットワーク「彩の国会議」が主催する、「第9回 協働型災害訓練 in 杉戸 (2022年2月10日～11日)」の開催・運営に協力するとともに、訓練に参加しました。



2021年度「協働型災害訓練 in 杉戸」(2022年2月10日～11日)

- (5) 認定NPO法人彩の子ネットワークが主催する「こども★夢★未来フェスティバル」の開催(3月12日～13日)に協力・参加しました。

○協力団体：埼玉労福協

○協賛団体：埼玉労福協、中央労働金庫埼玉県本部

こくみん共済 coop 埼玉推進本部、パルシステム埼玉

○埼玉労福協実施イベント

日 時 2022年3月13日(日) 10時00分～16時00分

場 所 埼玉県県民活動総合センター

内 容 フードドライブ

- (6) NPO法人クッキープロジェクトが主催する「クッキーバザール 2022 浦和コルソ+オンラインバザール」の開催(2022年3月28日～30日)に協賛団体として協力しました。

9. 地域労福協(12地域)と連携した全県的な活動の展開

- (1) 2021年度の「代表者会議」は、新型コロナウイルス感染拡大における緊急事態宣言、まん延防止等重点措置によりオンライン開催もありましたが、労福協としての課題や方針を確認し、地域における労働者福祉の取り組みに繋げました。

《会議の開催状況》

会 議 名	開 催 日	会 場
第1回地域労福協代表者会議	2021年 5月18日(火)	ときわ会館
第2回地域労福協代表者会議	2021年 7月28日(水)	ときわ会館
第3回地域労福協代表者会議	2021年 9月15日(水)	オンライン
第4回地域労福協代表者会議	2021年 11月10日(水)	ときわ会館
第5回地域労福協代表者会議	2022年 2月9日(水)	オンライン

Ⅲ. その他事業について

1. 2021 年度県内避難者支援

(1) 福島県復興支援員事業（埼玉県担当）

2021 年度も事業を受託し、復興支援員 4 名（埼玉労福協臨時職員、1 名は事業マネージャー兼務）による、埼玉県内に避難している福島県民（自主避難や避難指示解除区域の区分けなく）への戸別訪問は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止し、電話および郵便による近況確認と相談活動を行いました。

(2) 福島県富岡町「富岡町県外避難者支援拠点事業」

2021 年度も事業を受託し、復興支援員 5 名（埼玉労福協臨時職員）と復興支援事業マネージャー 1 名（労福協臨時職員）による全国に避難している富岡町民宅への訪問は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から 2021 年 11 月～12 月に 57 件の訪問相談活動を行いました。その他は電話による近況確認と相談活動を行いました。

(3) 福島県県外避難者帰還・生活再建支援事業（ふるさとふくしま交流・相談支援）

2021 年度も事業を受託し、交流・相談支援員 3 名（埼玉労福協臨時職員）により「避難者の見守り」や単独で一時帰還できない避難者のサポート活動を実施しました。

(4) 2021 年 3 月 11 日には東日本大震災から丸 10 年を迎えました。「3.11 を忘れない埼玉集会 2021」は、当初 1 月 30 日に予定をしていましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により 7 月 10 日に開催しました。また、「3.11 を忘れない埼玉集会 2022」を 2022 年 3 月 3 日に開催しました。

◆ 3. 11 を忘れない埼玉集会 2021

開催日 2021 年 7 月 10 日(土) 13 時 30 分～16 時 30 分

会場 埼玉県勤労者福祉センター 5 階大ホール

内容 ①講演：「ふくしまの現在（いま） 復興・再生のあゆみ」

講師：郡正彦 氏

福島県 企画調整部 避難地域復興局 避難者支援課副主査

②箏の演奏：箏男（kotomen）大川義秋 氏（福島県出身）

③事例報告

・福島県復興支援員事業・富岡町県外避難者支援事業報告

・ワーカーズコープ「そらまめ」事業報告

参加者 計 73 名

内訳：理事・監事/事務局 17 名、連合埼玉 20 名、事業団体 14 名

地域労福協 10 名、一般 10 名、福島県 2 名

◆ 3. 11 を忘れない埼玉集会 2022

開催日 2022 年 3 月 3 日(木) 13 時 30 分～16 時 50 分

会場 埼玉県勤労者福祉センター 5 階大ホール

内容 ①講演：「3.11 を学びに変える」

講師：佐藤敏郎 氏 Smart Supply Vision 特別講師

②復興支援員事業報告

- ・福島県復興支援員事業報告
- ・富岡町県外避難者支援事業報告

参加者 計 122 名（会場参加者 38 名・オンライン参加者 84 名）

内訳：理事・監事/事務局 29 名、連合埼玉 49 名、事業団体 27 名
地域労福協 11 名、一般 6 名

2. 「ネットワーク S A I T A M A 2 1 運動」の普及・定着活動の促進

「ネットワーク S A I T A M A 2 1 運動」は、連合埼玉と埼玉労福協が運動の推進母体として、さらには、中央労働金庫、こくみん共済 coop、パルシステム埼玉、さいたま N P O センターで運営委員会を組織しています。

【埼玉労福協が担当する事業について】

- (1) 暮らし応援セミナー（出前セミナー）の講師派遣を担当しました。5 団体より申し込みがあり、実績は 6 セミナーを開催し 192 名が受講しました。
- (2) 特別事業として東日本大震災に関する被災者・避難者支援活動を担当しました。子育て支援「ママランチ会」ならびに「バーベキューファミリー交流会 in サイボクハム」は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。
- (3) 運動の財源となる「ボランティアカード（2022 年度版）」は、社員団体の協力を得て、埼玉労福協として A タイプ 323 枚、B タイプ 79 枚の購入協力を行いました。

3. 「N P O 法人フードバンク埼玉」への業務支援

N P O 法人フードバンク埼玉は、11 の団体会員を中心に急増する食品支援要請に応えるため、各団体におけるフードドライブ活動を行いました。2021 年 6 月 30 日に第 5 回定期総会を開催し、2021 年度事業計画を確認しました。2021 年度は、4 回の理事会、5 回の運営委員会を開催しました。

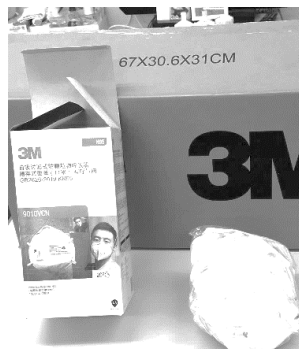
また、2021 年度埼玉労福協は、N P O 法人フードバンク埼玉の事務局として食品支援、寄贈への対応および食品配送の業務を担当しました。

《N P O 法人フードバンク埼玉の理事会・運営委員会への出席状況》

会 議 名	開 催 日
第 1 回理事会・第 1 回運営委員会	2021 年 8 月 6 日（金）
第 2 回運営委員会	2021 年 10 月 4 日（月）
第 2 回理事会・第 3 回運営委員会	2021 年 11 月 22 日（月）
第 3 回理事会・第 4 回運営委員会	2021 年 12 月 23 日（木）
第 4 回理事会・第 5 回運営委員会	2022 年 2 月 24 日（木）

4. 事業団体間連携の強化

- (1) 「2021 全国福祉強化キャンペーン」の取り組み方針に沿って、2021 年 10 月 1 日に連合埼玉に対し、「労働者福祉運動強化」に向けた要請を埼玉労福協（近藤理事長）、中央労働金庫埼玉県本部（谷内常務理事）、こくみん共済 coop 埼玉推進本部（金井本部長）の 3 者連名で行いました。
- (2) 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、医療現場への支援活動として「医療生協さいたま」に防護マスク（N95）1 万枚の支援活動に取り組みました。
この防護マスクは、「彩の国会議」の連携団体である全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（J V O R D）より、スリーエムジャパン株式会社からの寄付情報に支援協力をお願いをした結果、寄贈されました。



N95 マスク



「医療生協さいたま」へのマスク支援

- (3) 「労働者協同組合法」施行(2022 年 10 月)に向けてワーカーズコープ連合会センター事業団埼玉事業本部への支援強化を図るため、埼玉県への政策制度要請や埼玉協同労働推進ネットワーク(埼玉協同ネット)準備会への取り組みを行いました。

IV. 中央労福協関係

- (1) 2021 年度全国研究集会（オンライン）
開催日 2021 年 6 月 7 日（月）
- (2) 2021 年度事業団体・地方労福協合同会議（オンライン）
開催日 2021 年 7 月 5 日（月）
- (3) 地方労福協事務担当者研修会（オンライン）
開催日 2021 年 7 月 20 日（火）
- (4) 中央労福協第 4 回地方労福協会議（オンライン）
開催日 2021 年 9 月 29 日（水）
- (5) 「ライフサポートセンター実務者・相談員研修会」（オンライン）
開催日 2021 年 10 月 28 日（木）
- (6) 全国一斉奨学金に関する電話相談会
開催日 2021 年 11 月 11 日（水）午前 10 時～午後 7 時
会 場 ときわ会館
対応者 埼玉労福協役職員および埼玉奨学金問題ネットワーク弁護士他

- (7) 中央労福協第 65 回定期総会（オンライン）
開催日 2021 年 11 月 26 日（金）
- (8) 中央労福協ブロック事務局長会議（オンライン）
開催日 2022 年 1 月 27 日（木）
- (9) 中央労福協第 1 回地方労福協会議（オンライン）
開催日 2022 年 3 月 7 日（月）

V. 労福協東部ブロック協議会関係

- (1) 第 231 回幹事会（埼玉県東松山市）
開催日 2021 年 7 月 7 日（水）
会 場 ガーデンホテル紫雲閣東松山
出 席 近藤嘉、佐藤道明、新坂洋一、佐藤宏
- (2) 第 232 回幹事会（静岡県、オンライン）
開催日 2021 年 10 月 7 日（木）
会 場 静岡県労働者福祉基金協会ロッキーセンター
出 席 新坂洋一
- (3) 第 233 回幹事会（栃木県）
開催日 2021 年 12 月 1 日（水）
会 場 栃木県「宇都宮東武ホテルグランデ」
出 席 佐藤道明
- (4) 労福協東部ブロック協議会第 56 回定期総会
開催日 2021 年 12 月 1 日（水）
会 場 栃木県「宇都宮東武ホテルグランデ」
出 席 佐藤道明、新坂洋一、佐藤宏（委任）
- (5) 第 234 回幹事会（神奈川県）
開催日 2022 年 3 月 24 日（水）
会 場 ワークピア横浜
出 席 佐藤道明
- (6) 東部ブロック協議会第 14 期福祉リーダー塾 ※中止

VI. 埼玉県関係

1. 埼玉県住まい安心支援ネットワーク関係

- (1) 埼玉県住まい安心支援ネットワーク全体会議
開催日 2021 年 5 月 19 日（水） 書面決議で開催
議 題 ①令和 2 年度事業報告及び収支決算について
②令和 3 年度事業計画及び収支予算について
- (2) 埼玉県住まい安心支援ネットワーク臨時全体会議
開催日 2021 年 12 月 1 日（水） 書面決議で開催
議 題 ①令和 3 年度事業変更計画及び補正予算について
- (2) 埼玉県住まい安心支援ネットワーク専門部会研修会
開催日 2022 年 1 月 25 日（火）14 時～16 時 30 分
会 場 W E B 配信（配信会場：埼玉教育会館 303 会議室）

- 内 容 ①講演 1 「包括的支援の取り組みから見える居住支援の必要性」
②講演 2 「狭山市における居住支援の取り組み」
③埼玉県からの情報提供等
- (3) 埼玉県住まい安心支援ネットワーク 令和 3 年度運営会議
- 開催日 2022 年 3 月 18 日 (金) 書面決議で開催
- 議 題 ①令和 3 年度事業報告及び収支決算見込みについて
②令和 4 年度事業計画 (案) 及び収支予算 (案) について
③役員改選について

2. 埼玉県共助社会づくり課との連携

埼玉県共助社会づくり課の業務は、

- ①共助社会づくりに関する施策の総合的企画及び調整に関すること
- ②特定非営利活動促進法の施行に関すること
- ③NPO活動及びコミュニティ活動の促進に関すること

であり、埼玉労福協の「共生の地域社会づくり」方針と一致しています。具体的な活動として「災害時におけるNPO団体との連携」という観点から埼玉県災害ボランティア団体ネットワーク「彩の国会議」定例会や「協働型災害訓練 in 杉戸」開催に協力しています。

3. 埼玉県資源循環推進課との連携

埼玉県資源循環推進課とは、「食品ロス削減」の観点から「フードバンク事業の普及啓発事業」で連携しています。

資源循環推進課からは、埼玉県や県内企業からの食品寄贈に関する情報が提供され、フードバンク埼玉の事業に寄与しています。2021 年度は、イトーヨーカドー埼玉県内店舗 (14 店舗) とのフードドライブが実施されました。また、コロナウイルス感染症拡大防止のため緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発出により、多くの子ども食堂が活動休止となりましたが、地域における生活困窮者への支援団体であるフードパントリーへの食品支援活動を行いました。生活困窮に追い込まれた大学生 (埼玉大学 267 人、埼玉県立大学 184 人) への食糧支援を連合埼玉ならびにフードバンク埼玉と連携して取り組みました。

4. 埼玉県社会福祉協議会との連携

埼玉県社会福祉協議会とは、同団体が取り組む「彩の国あんしんセーフティネット事業」を支援する形で、協力・連携関係にあります。具体的には、ネット 3 事務所 (久喜・川越・熊谷) を拠点として、幹事団体 (社福施設) に食品提供を行っています。

また、埼玉県社会福祉協議会が担当している「町村の生活困窮者自立支援相談事業 (アスポート事業)」にも食品提供を行っています。

5. 埼玉県危機管理部危機管理課との連携

埼玉県危機管理部危機管理課とは、埼玉県災害ボランティア団体ネットワーク「彩の国会議」登録団体として、首都直下型地震、埼玉県内での予期しない災害に備える立場から「彩の国会議」の幹事会メンバーとして活動しました。